

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30 年 月 日
2次評価日（課長等）	30 年 月 日

事務事業評価表（建設事業等）

1 事業名	「第4次総合計画」に沿って整理した事務事業名		
2 担当部課	評価表の所属・作成者		
3 事業概要	目的体系	基本目標	「第4次総合計画」に沿って整理した体系
		政策	
		予算科目	業務委託
		実施義務	国県補助

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 (簡潔に)	この事業の受益者（事業により便益を受ける人）のために、どのような状態にしたいのか	
目的		
	対象者	
	意図	

5 事業の必要性	* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由
この事業の受益者（事業により便益を受ける人）のために、どのような状態にしたいのか	

6 事業の全体計画	* 各年度の取組計画		
予定全体事業費	人件費を除く予定事業費	円	事業期間
	事業の予定実施期間		
27年度まで	各年度に実施を予定している取組内容 平成30年度以降は事業の実施計画		
28年度			
29年度			
30年度以降			

7 事業の実施内容	* 各年度の進捗状況
27年度まで	事業の実施内容
28年度	
29年度	
前年度の課題への対応	前年度の事務事業評価における課題に対する取組内容

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分		27年度まで(累計)	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	経常経費	① 直接事業費 平成27年度～平成29年度：決算額 平成30年度：予算額（当初予算）			
	臨時的経費				
	* 臨時的経費の説明				
② 人件費	正規職員の人数（人）	② 人件費 正規職員の給与費、法定福利費、退職給与引当金相当額等を含め、 便宜的に、正規職員1人あたり年間800万円として算出			
③ 合計コスト（①+②）					
前年度比					
財源	一般財源				
	内訳	特定財源			
* 特定財源の説明					

●事業の評価（CHECK）

9 事業の進捗状況

区分		27年度まで(累計)	28年度	29年度	30年度(予算)
進捗率	直接事業費の執行率	直接事業費の執行率：直接事業費の累計額÷予算全体事業費の金額			
	その他の進捗率				
	* その他の進捗率の説明				
事業をとりまく環境変化	今まで	（これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと） 事業を開始した当初から平成29年度までに起こった政治・経済・文化などの変化のうち、この事業に影響があったこと			
	今後	（30年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること） 平成30年度以降に予想される政治・経済・文化などの変化のうち、この事業に影響があること			

●改善の内容（ACTION）

10 今後の課題と対応策

今後の課題	（環境変化を考慮して事業を進めていく上で、30年度以降に課題になること） これから予想される環境変化（項目9）を踏まえて、今後、この事業を進めていく上で課題になってくること
	（上記の課題をふまえて30年度に実施する、具体的な対応方法） 課題を解決するための具体的な方策や、そのために必要となる条件

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	この事業に関する次年度の方針	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	事業の優先度
-----------	----------------	---	--------